異世界転生したら
エロスキルのみ最強の
触手淫獣だった

異世界転生したら

エロスキルのみ最強の触手淫獣だった

俺は異世界転生をした。

それは18禁ゲームの『モオ牛っとオッパイ酪農家』の発売日、
俺は興奮しながら帰宅しPCを起動した瞬間だった。
身体はそこに残したまま、意識だけが黒い渦に飲まれて、
どこか知らない世界に落とされるのを感じた。
辿り着いたこの世界での身体は何ともぷにぷにしており、
頭に突起がありお尻が少し割れている桃のような球体…

この身体を桃尻スライムと名付けた。

なぜ鏡もないのに形状まで
正確に把握できるのかというと、
この身体は神経が非常に鋭敏なのだ。
何かを捉えたり、動く時に体が伸び縮みする。
軟体は人間よりもはるかに複雑に動く…
その時の状態を正確に把握する神経が、
発達していると考えられる。

ここは儀式台のような場所だった。

周囲を囲むように蝋燭が並び
見るからに、俺は誰かにこの世界に召喚されたと…
そうわかるような召喚場所だった。
ただどこを見回しても肝心な存在がいなかった…。
召喚した当事者…魔術師がいないのだ…。

わぁ！ほんとに召喚されてる！
はじめまして！
ボクはルシア・カエルフェルト
魔法女学園中等部二年生！
君の契約者だよ！

そこにその少女は、現れた。
言語は理解でき、なんとなく幼い口調にあまり優秀な魔術師ではない気がした。

ほら！お食べ！

ルシアは薄いハムを一枚差し出した。
やや塩分が強いと感じたが普通においしい。
そしてなにより桃尻スライムの感覚は鋭敏で、
この世界の食べ物はよりおいしく感じた。

これで契約成立だね！アハ♥

…ちょ…待て！
なんでハム一枚で契約成立なんだ！
そもそも何の契約なんだ！

ピギィ！

モグモグ

何言ってるのさ！
ちゃんと本に書いてあったよ！
『豊満な肉体を捧げて
魔族と魔女は
とこしえに契約を結ぶ』って！

豊満な肉体がハム！アホだ！
やべぇ…肉しか合ってねぇぞ！
ハズレだ！
俺の異世界転生のハズレが確定した！
オタクとして生きてきて、
異世界転生に憧れを抱く日々だった！
だからここまで割と盛り上がってたんだ！
だが！こんなアホにこんな魔物として
召喚されるなら…
家でモ牛娘でシコシコしてた方が
絶対よかったじゃねぇか！

そして俺はキレた。

いいか…
豊満ってのは肉付きが最高ってことだぁ…
こんなペラッペラのハムじゃなくてなぁ…
そこにあるぅ…

!!
ヤベェ！
ポンコツに当たった！

おっぱいハムに決まってんじゃねえか！
キャ♡
レロレロ
レロレロ
ムチ
ムチ
グル
グル

らめ♡
はっ！
バストサイズ94！
モ牛娘の
メインヒロイン！
牛島真凛ちゃんと
同じ！
俺は触れただけで
サイズを理解する。
そう…桃尻スライムの感覚は
感知スキル『女の子測量』レベルSが発動するほど
高感度だったのだ！

オラオラオラオラ！
ガハハ！
グッドだ！
やぁ♡
ぬぬ♡

ガハハァ！
女の子測量スキル発動！
B94W62H91の
何だこのムチムチエロボディは！
太ももまでムチりやがって！
淫乱だ！淫乱だろ！
勉強せずにセックスばっかり
してたんだろ？
それでバカなんだろ？
異世界転生時には
チート性能が与えられるのが
基本だが、桃尻スライムには、
どうもエロスキルばっかり
あるらしい。
身体を伸ばしてネットを形成して
縛って拘束するスキル
身体から出る粘液には
キレイに女体を残して
服を溶かす効果と
媚薬効果もあるのか
淫乱ルシアはピクピク
反応してやがる！
ボク処女だもん…
インランじゃないもん…
ピクン！
わがうもん
ピクン

ガバハ！
じゃあ何か？
処女マンコの癖に
パンツ食い込まされて
あんあん喘いでんのか？
処女の癖に淫乱！
バカにも才能あって
よかったな！
ルシアのムチムチに
俺は伸びた体を
食い込ませる。
桃尻スライムボディに
ルシアのすべすべな肌は
弾力があって、
吸い付くように俺の締め付けを
受け入れていて
相性抜群の
気持ちよさがあった。
お願い…
バカって言わないで…
あとグイグイするのも
やめてよ
ボク傷つくんだから…
グィッ
グィッ
あっ♡
痛いよ！
やめて！

ん？つまりアレか？優しくなら ナニされてもいいわけ？ んー？ 処女の癖に…
違うもん… ボクそんな子じゃないもん…
桃尻スライムのスキルは素晴らしかった。言葉とは裏腹にルシアの身体が徐々に発情して火照っていくのが、全て伝わってくるのだ。拘束、媚薬、粘液、感度センサー測量…たぶんまだまだある…
桃尻スライムはセックスモンスターだ…
ニヤ
ニヤ
ん♡
ん♡
クネ
クネ

耳の感度がよく
舐めまわすと、
ルシアの声は
色気を帯びる…
ベロォ…
いいんだろ？
ん？
俺の体の一部は、
芋虫のように変化する。
どうも触手スキルというものらしい。
俺は、そのうちの一本をルシアの処女マンコに
押し当てて細めの赤い触手を挿し込む。
ぬん♡
ルシアの膣はすでに湿り気を帯び、
すぐ卑猥な音を立て始めた…。
ヌプ…
ヌプ…

そろそろ契約だが
謝れば、やめることも
考慮するぞ？
ん～？
これが契約なら…
ボク頑張ります…
よろしくお願いします…
思わぬ返事だった…
異世界召喚なんて迷惑な事をするガキに
お仕置きする程度のつもりで…
本気で嫌がれば、すぐやめる気でいたんだが、
アホの子なりに覚悟があって召喚したのかもしれない。
グッ
グッ

俺は触手を膣へ
挿入した…。
音を立てて
処女膜を破り
奥へと触手をねじらせて進ませる。
ルシアは痛みに耐えてはいるが、
拒否の意志は示さなかった。
痛っ！
んっ♡
ズメズメ…
ズプ
グッ…
成人男性のソレ程の深さで
俺は触手を前後運動させて
性行為を始めた…。

ルシアの中は、
熱いほど充血して
俺のアレを締め付ける。
それをかき分けるように
進めては退き
そしてうねらせる。
俺の粘液には、気休め程度の止血作用があるらしく、
ルシアの破瓜の出血を止めたことで、
ルシアの反応も耐えることから
やや甘さを帯びた喘ぎに変化し始めていた。
その反応を受けて俺は行為を速める。
それに合わせるようにルシアも
喘ぎ声を大きくして速めた…。

時間をかけてルシアの膣内にたっぷりと射精した。
ひぬぅ♡くる♡きちゃう♡ぬんぬぬん♡
セックスというのは不思議なもので
さっきまでアホの子にしか見えてなかった
ルシアが愛の営みを終えるとなんとなく愛らしく
とても頑張り屋な美少女に見えてきていた…。
ビュル
ビュルル
ビュル
ビュル
ビュル…

結局めちゃくちゃセックスしたんだが、
終わるとルシアも妙になれなれしい…。
ルシアもイッてたし
気持ちよかったんだろ？
くらいに思ってると…。
これで夫婦の契約成立だね♥
いっぱい愛してね♥ダーリン♥
夫婦？前の世界では、俺にはありえない奇跡のような都市伝説的なものだ。
それを目の前の異世界少女が言っているのだが暫く理解できなかった。

「低レアモンスターは進化素材」とか
「俺は桃尻スライムを生贄にして
青眼白龍を召喚するゼ！」とか
そういう扱いじゃないの？
俺はアホなガキに
ハム一枚で召喚されて
ゴミのような扱いを
想像していたのだ。
なにそれ？わかんないけど
ボクにとってダーリンは生まれて初めて
成功した魔法で、一生を共にする伴侶だよ♥
魔族と魔女ってそういう関係だよ♥

ルシアは思ったよりもポンコツだった。
普通は召喚魔法って高度なモノだろ？
もっと簡単なファイアボルト的な魔法を
普通は使えるもんだろ？
ルシアはそれすら出来ない
なんともポンコツなんだ…
でも
俺は心の中で
この異世界転生はハズレだと
思ったことは撤回した…。

ボク…ルシア・カエルフェルトは
永遠の愛をここに誓い♥
お嫁さんになります♥
ちゅ
こうして俺の異世界転生は
始まったのだった。

俺たちは夫婦になって数日が過ぎた。
ずっとルシアを見ていたが、バイトをしながら安い下宿に住んでいても
毎日魔女の勉強を欠かさず、俺と違ってとてもいい子だったんだが、
不思議な事に学校に行こうとしないのだ。

オラオラァ！
頑張ってんだからよ！
学校行かないと損だぞ！

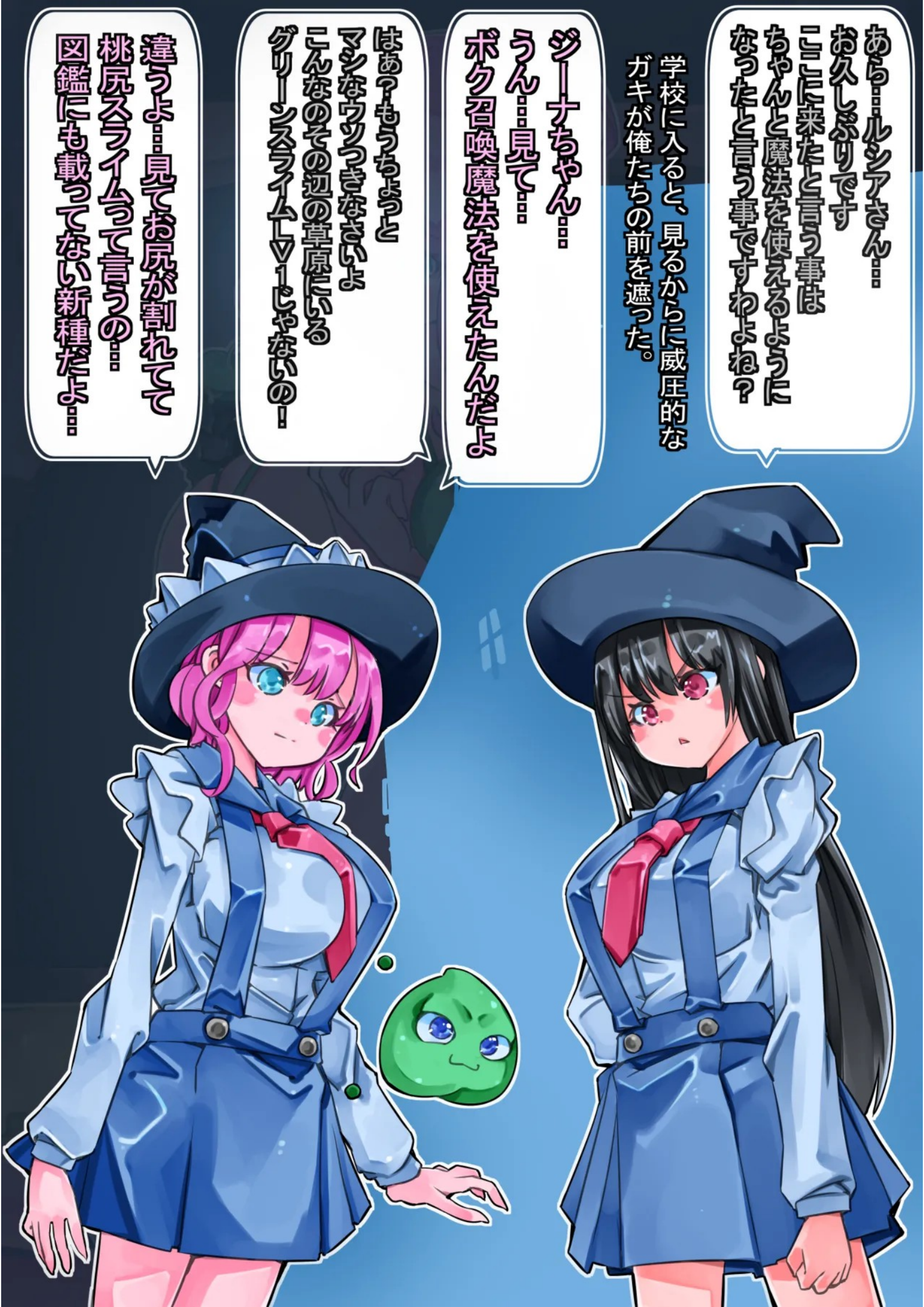
渋るルシアをダーリンの力でちょっと強引に連れ出した。
魔女の学校の割に、わりと普通の建物で若干拍子抜けしつつも、
無事に学校に着いたのだが…。

ダーリン…
入るの怖いの…

つっても魔女を頑張るために
俺を召喚したんじゃねぇのかよ？
あんなことまで頑張ったのに
普通のことは嫌なのか？

プルン

プルン


あら…ルシアさん…
お久しぶりです
ここに来たと言う事は
ちゃんと魔法を使えるように
なったと言う事ですわよね？
学校に入ると、見るからに威圧的な
ガキが俺たちの前を遮った。
ジーナちゃん…
うん…見て…
ボク召喚魔法を使えたんだよ
はぁ？もうちょっと
マシなウソつきなさいよ
こんなのその辺の草原にいる
グリーンスライムLV1じゃないの！
違うよ…見てお尻が割れてて
桃尻スライムって言うの…
図鑑にも載ってない新種だよ…

そもそも基礎魔法も使えないルシアが
召喚なんて高度な事出来るわけないです。
こんなウツを先生に見せるなんて
学級委員として許しません！
いいことですか？
あなたは今期中に
魔法を使えなければ落第！
才能無し！見込み無し！
退校処分になるの！
遊んでないで
魔法を習得しなさい！
これがあんなエロいことされても
我慢して俺と契約した理由か…
ルシアは魔女になるのが夢なのに、
上手く魔法を使えない子…。
そして俺氏ただの雑魚モンスと発覚…
なんて可哀そうなポンコツなんだハニー…
ごめんね
…ダーリン…
帰ろう…

俺たちは下宿に戻ると、セックスをした…。
パッと見は俺が襲っているようにみえるが、実際はルシアが求めてきたのだ。
夫婦になって数日間もうそれなりの回数をこなしている。
ルシアはエッチの才能はホントにあったみたいで、すぐ感じ方を覚えて
俺に甘えるようになっているし、
割と俺もちょっと好きになっている…。
ダーリン…お願い…
最初の時みたいに
もっと乱暴にして♥
全部忘れさせて…。
気持ちはわかるんだけど
ちゃんと魔法の練習した方がよくね？

もういいの…ダーリン…ボクは魔力がゼロなの…
だから絶対魔法を使えない子なの…それでも頑張り続けて…
召喚だって千回は失敗してたんだよ…だけど
奇跡かな？…ダーリンが来てくれたの…
ボク魔女になるのが夢だった…
その奇跡で夢がかなったの…
だからもう十分なの…
神様が頑張ってるやつに才能をやらねぇのはどの世界も一緒か…とりあえずかける言葉もなく俺たちはただ満たし合うためにセックスをした。

ルシアが泣きながら布団にくるまっていたころ、
ルシアをイジメたジーナはと言うと、
クラスメイト達とルシアの悪口を言い合っていた。
特にジーナというガキは口が悪く…

・魔力も脳みそもないポンコツ。
・家柄が悪く育ちがなってない。
・天然で空気読めない。

これほどかという程に悪口が出てくる。
なぜ俺がそれがわかるかというと、あの時ジーナに体の一部を、
細い糸のようにして付けておいたのだ。
糸電話のように遠くでも何をしているかわかるというスキルだ。
そしてルシアの悪口だけじゃなく俺の事も…

・経験値1しかない雑魚モンス
・スキルは噛みつきだけ
・農夫を見ても逃げるチキン
・単細胞で脳みそがない

俺ってそういうモンスターだったのか…
という残念な事実は置いておいて、
俺の嫁の悪口を俺以外が言うのは許さん！
とブチキレた俺はジーナが
帰路で1人になるのを待ち
糸の先に体を移動させた。

メヤ…!
メグッ…
ファイアボル…

噛みつき以外もあるとこ！見せてやんよ！
ん♡
ヌルヌル
魔法を撃たれたらグリーンスライムは一撃だろうから、その前に口に触手芋虫をブチ込んで詠唱阻害してやった！

ずっとこの小生意気な口を、
塞いでボロボロに
責めまくりたいと、
思っていたから
俺は作戦成功に
狂喜した！
ゲヘヘヘ
ザマァ!!
ムフ♡
ビュルルルビュルルビュルル
さらに喉の奥に溢れかえるほど媚薬効果がある粘液を射精した。
これは皮膚を敏感にし痺れさせる効果があり、
シンプルにろれつが回らなくなる。
もう魔法詠唱は出来ない…
ずっと俺のターン！

俺は抵抗できないジーナを
路地裏に連れ込んでお仕置きする。
バスト96…
いいおっぱいだねぇ
感度もいいんだねぇ
ゲハァ…
感じてるんだろ？
舌が這うたびに
エッチな喘ぎ声漏らして
ジーナは最初は言い訳めいたことを、
動かない口で必死になって
しゃべろうとしていたが、
徐々に俺のエロ責めへの
反応しか示さなくなる…。
ひゃめぇ♡
ベロベロ…
あ♡
あん♡
チュ…
チュ…
チュ…

触手芋虫の足でGスポット刺激しつつ
膣奥で芋虫の頭をうねらせれば、
ジーナは簡単に何度でもイッた。
口を閉ざして声を殺して絶頂を隠したつもりでも
ピクピクと痙攣してしまうジーナが可愛らしい…。
さっきまで処女だったのに
もうビッチみたいに感じちゃって
これはイジメのお仕置きなのに
そんなに感じちゃったら
お仕置きの意味がないじゃないか？
チミはアレだね？
むしろイジメられるべきだね？
だってドMだもんなぁ
ゲハハァ！
俺は快楽と言葉で
ジーナを責め続ける。
よく見ると割と
好みだったから
じゃない。
最底辺の
雑魚モンスに
辱めを受ける事で
イジメられる側の
気持ちを
思い知らせて
やるのだ！
ん♡
ん♡ん♡
ぴゅっ
じゅぷっ
じゅぷ…
じゅぷ…
じゅぷ
ぴゅっ

俺はイク時の生意気な学級委員の声が聴きたくて、
さらにより強く責め立てて顔と膣に同時に射精してやった！
やぁあぁあぁあっぁ♥
もぅ…ひゃら…らめぇにゃの
ほねがひ…ゆるひて…
あやらりひゃすからぁ…。
ふぅん？
謝ったらイジメ許されると
思ってんの？
無理！同じだけイジメる！
ゲハハァ！
ジーナは
謝罪と許しを
乞うたが
俺はどちらも
拒否し
セックスを
続ける…。
ビュルッ
ビュルッビュルッ
ビュルッビュルッ

とりあえずめちゃくちゃセックスした…。
50回くらいはイカせてやったんじゃないかってくらい
とにかく気持ちよくしてやった。
膣は感じやすい所を調べつくし徹底して責め、
おっぱいは程よく締め上げて、
敏感になった乳首を
吸ったり舐めたり噛んだり、
乳首だけで一回くらいイッたんじゃねぇか？
ゲヘヘ…可愛い顔に巨乳しやがって、
めちゃくちゃ好みじゃねぇか…
どうだ？俺とのセックスなしで
もう生きれねぇだろ？
アレ？俺はなんでこの子と
セックスしてたんだっけ？
つか
この子
超好き！
ハァ♡
ハァ♡
ハァ♡
フー…

ねえ…貴方は本当にルシアさんが召喚しましたの？答えなさい…。
男という生き物は愚かなもので抱いたメスはなぜか自分の味方になると思い込んでる。
何も考えずに解放したら物凄い重量の乳と手で挟みこまれるように捕獲されてしまった。
これは言葉の選択肢をミスれば死ぬパターンだ…
だが天才の俺は最高の返答をする。
ピキー！ボク草原から遊びに来たグリーンスライムだよ！悪いスライムじゃないよ！

人語を理解する魔物はいても
話せる魔物は神話の時代まで
遡らなければ存在しないわ。
貴方は魔神クラスの個体なはず
それをルシアさんが召喚した…。
そりゃ俺は元々人間だからってだけで
ただのグリーンスライムだ…。
知られた方がいいのか？知られると死ぬのか？
どっちだ？これ正答なんかねぇぞ…
こいつガチの魔女だ！素人の俺でも圧でわかるくらいやべぇ
嬉しいのよ…
ルシアさんが魔法を使えたんですよ？
ぷに
ぷに

やりましたねルシアさん！
これで私達2人の夢だった
魔女になれますよ！
へ？
サーセン…
スライムにも解るように
説明願います！
ジーナはとても
真面目ないい子
だと
わかるほどに
優しく丁寧に
説明して
くれた…。
話を要約するとルシアとジーナは親友で
共に魔女になることを幼少期から夢見て歩んできた。
でもルシアは魔法が使えないままだと学校を追い出されることになって
甘えたなルシアの性格を考えて荒療治として厳しく当たっていたのだと…
言っていたのは悪口じゃなくてルシアの欠点から
なぜ魔法を使えないか探るクラスの会議だったとか…
サーセン！ジーナさん！
あんなことして
ホントにさーせんでしたぁ！

何を言ってらっしゃるの？
ルシアさんと私は2人でひとつ
私も妻になるに決まってる
じゃありませんか？
だから性行為はこれからも
してもらいますよ
へ？
私とルシアさんは絶対に同じでひとつ
もし違うところがあれば
何があっても破壊する…
例え愛する者でも…
意味はわかりますわよね？
ひ～…
やべえええええ人だあっぁあぁあああ！
想像を絶するほどに！やべえええ…
こうして異世界転生は夢のハーレム展開となった。
…嬉しくない系のハーレムだが…

こうしてルシアのボロボロ下宿にジーナまで住みついたのだが、修羅場…
セックスしても何してもルシアの機嫌が悪い…
ジーナちゃんは昔からボクの大事にしてるモノを奪いたがるよね…

ご主人様はモノではありませんの
そしてご主人様のような魔神は
複数の魔女を侍らすのが基本♥
2人でお仕えしますの♥
ジーナは
ルシアの足を開き
太ももでルシアの
性器をこすり
刺激し始める。
ん♥
や♥お友達だから…あ…って♥
一緒に魔女に…あ…ちょ…待っ…
やあ…♥ジーナちゃ…♥

ジーナはルシアをイジメなれている。
ルシアの性格を知り尽くしており、
俺以上にかわいい所を巧く突く、
もちろん俺は百合に口出すような
不粋なマネはしない。
かわいい♡
好き♡
やぁ♡
やぁ♡
こんな♡
やぁ♡
ジーナちゃ♡
レろゅ
レろゅ
レろゅ
レろゅ
ジーナは俺の嫁じゃなくて、俺と共にルシアを愛する相棒、
2人でエロエロ責めるハーレムだと考えると、
とても楽しい生活になった。

翌朝になるとルシアは二コニコ笑顔で学校に行く準備をしていた。

ありがとう♥ダーリン
ボクが魔法を使える事を
ダーリンがジーナちゃんに証明してくれたから
学校に行けるよ♥

いあいあいあいあいあ！
こっちこそごめんなハニー！！
せっかくの2人の愛の巣が！

アハァ♥いいのいいの
どうせそのうちジーナちゃんも
おしかけてくるって思ってたし、
ダーリンが爆裂魔法で
粉砕される事を心配してたし
ジーナちゃんもダーリンを
好きになってくれて安心したよ♥

やっぱ怖いやつだった…
でもとりま結果的に大成功で
ウチのハニーは堂々と俺を連れて
通学できるようになった！

学校に行くと先生はルシアを優しく迎えてくれた。

お帰りなさいルシアさん
召喚魔法に成功するなんて
先生は驚きましたよ♥

おう！
桃尻スライムだ！
よろしくな！

ダーリンはボクのダーリンなの♥
ちょっと常識がないけど
とても優しいんだよ♥

ルシアから常識がないと言われてややイラっとしたが、ここに来てから少女二人に行った行為を思い出してなんとなく納得した。

はい♥先生はダーリンさんに
大事なお話があるので
2人は授業に出てくださいね

こうして嫁2人と離れて面談になったんだが…。

あふっ…せんせ…っ
ちょっ…説明お願い…しまっ…

先生は空き教室に入ると
豊満すぎる胸を露わにし、俺を挟み込んだ。
先生が揉みまわす胸の狭間で、
軟体な俺の身体は
細長く伸び切り
まるでチンチン
みたいな形状に
なっているが、
先の割れ目は
桃尻スライムの
チャームポイントの
割れ目であって
俺はけして
チンチンスライムに
覚醒進化
したわけではない！
ただ何度も言うが
桃尻スライムの感覚は
鋭敏なのだ。
それはまるでチンチンのように
全身が敏感なのだ。

つまり俺は形状感度共にほぼ全身チンチンであり
そのチンチンを圧倒的な技量の先生に責められているのだ！

面談です♥
あなた様の事いっぱい知りたいです♥
あなた様は本当にルシアさんに召喚されたんですか？
先生は俺の敏感な割れ目を素早く舌でなぞりながら、
さっきは回していたおっぱいを
今度は上下にゆすり始めた。
んっ…気持ちいいいい…。
召喚時、
ルシアさんは
何と魔法詠唱
してました？
どういう儀式で…
どういう服装で…
いいえ…
そもそもそこに
ルシアさん
居ましたか？
気持ち良すぎて
回らない頭の中でも、
先生が痛い所を言葉でも
突いてくるのがわかる。
魔力がないルシアが
異世界から俺を召喚できたはずがないと
うすうす俺も感じていたことを理解されている。
たゆ♡
たゆ♡
たゆ♡

話を変えましょうか？
あなた様の正式名称はスライムパート
世界の魔力バランスが崩れた時に異界より現れて、
1人の魔女と共に世界を救うと言われています…

俺と同じ形状のスライムが
過去にこの世界を救った…
逆に俺が現れたことが
この世界の危機の証明だとか…

世界の危機です。
パートナーは、
選んで
もらいたいです。
簡潔に言うと、
魔力ゼロの子は
困ります。
ジーナちゃんは
天才ですから、
そちらなら…

そういう事か…
…ダメ…だ…
ルシアは俺の嫁…

でも個人的には
私がパートナーになりたいです。
スライムパートは好色と聞きます♥
私なら毎晩こうして差し上げますよ♥

ん…ぎもぢいいいい…
俺の身体はチンチンでもないのに割れ目から白濁液を噴出した。
わぁ…何てたくましい射精…
これなら私満足できそうです♥
相性よさそうですね？
すばらしいです♡
とめ♡
もう1回♡
相性どうこうじゃなくシンプルに性技がヤバいくらい凄い…
このまま責められたら虜になってしまう…
ダメだ…パートナーはルシアじゃなきゃ……
ビュル
ビュル
ビクン
ビクン
ビクン

オッオッオッ
オッオッオッ
オッ
あん♡

攻めあるのみ！
受けたら絶対に負ける
そう思った俺は
全力で触手芋虫を出し
膣に集中させた。
そこは男を
知り尽くした蜜壺
最初は緩いかなと
思える程度で芋虫は
奥まで侵入できた。
だがその瞬間、
罠にかかったと思えるほどに
きつい膣圧が芋虫にかかった…。
射精
秒殺だった…。
吸い付くような膣で
締め付けると、
先生は自ら腰を振って
中の芋虫を即イカせた。
大丈夫…まだまだ次が…
そう思ったが抜けないのだ…。
あなた様♥中の子…
もう一回射精できると思います♥
先生はそう言うと中の芋虫をさらに刺激し始める…。
射精…射精…限りなく続く射精…
ハァハァ♡すごぃ♡
ジュプッ
ジュプッ
ズプッ
ズプッ
ズプッ
クチュクチュ
ズプッ
ズプッ

や…あ♥
あん♥
イキますぅ♥
先生もイッてないわけじゃない。
俺と同じ回数かそれ以上イッてる。
ウチの絞りつくされた芋虫はすでに5体
合計15回は射精…
先生は20回はイッてるんだ。
だけどこの人…
欲望に終わりがない…
まだ足りないと膣はキュンキュンと締め付けて
愛液が溢れて、潤んだ瞳で見つめてくる。
はぁ♥すごおい♥
オークさん達に三日三晩レイプされた時より
何倍も気持ちいいですよ♥
マジか…でも俺も負けれねぇ！
だって…ここで負けたら…ルシア…
こんなのハジメテ♡
ハァハァハァ
ビクン
ビクンビクン
ゴポッ
ドロォ
ブッブッ

完敗！
俺はあっさりと全弾を撃ち尽くしたが、先生はまだイケますって顔でニコニコと微笑んでいる…。
こんなセックスを毎日できるなんて…最高のパートナーになれますね♥あなた様♥
手足と乳を拘束してこれだから…先生が完全フリーだと俺はどうなるんだ…セックスモンスターがセックスで負けたらこの人に絶対逆らえないぞ…。
こうなったら手段はひとつしかない…
ウフ♡ よかったぁ♡

こんなに逞しい殿方
初めてです♥
愛しております
あなた様♥
優しい…
完敗して出し尽くし
ヘロヘロな俺を
胸に挟んで、
撫でながら、
愛の言葉を潤んだ瞳で、
伝えてくる。
好き…
いや…大好き…
先生惚れてまう…
あなた様♥
魔力のないルシアちゃんとの契約なんて
所詮言葉だけの約束…
しっかりとした魔術式の契約をしましょう♥
同意してくださりますよね？

先生…サーセン…
俺ルシアが好きです…
最終手段は
ごめんなさい。
俺は
生まれて初めて
女の子を振る。
先生が好きなのって俺じゃないでしょ？
スライムハートって種族でしょ？
ルシアは俺が平原のグリーンスライムでも、
ダーリンって掛け値なしで言ってくれる…。
そんな子いますよ。
いたんですよ。
だから俺も掛け値なしで
ルシアを愛してやりたい…。

合格♥
面談はクリア
あなた様を
ルシアちゃんの
専属召喚獣と
認めます♥
へ？つまり
試されてた？
ルシアが
パートナーか
どうかを…
ウチの可愛い生徒を
そんな愛してくれてて
嬉しいですよ♥
先生は満面の笑みで、
言葉を続けた…。
でもあなた様がルシアちゃんと
世界の危機を救うのは事実です。
ですがルシアちゃんはあなた様に
魔力供給もレベルアップもできません。
経験値が貯まったら私がアレして
レベルを上げて差し上げますからね？

それが…世界のためならば是非に及ばず…宜しく御願い致します。
世界のためです♡
こうして俺と先生は、ルシアに内緒でレベルアップのためにヤリまくる関係に、なったのだった。
パラパッパッパー！！
桃尻スライムはレベル2に上がった！
エッチPが5上がった。
ドMPが2上がった。
触手攻撃力が2上がった。
触手硬度が4上がった。
スキル『連戦』（射精時に50％で再勃起する）
スキル『触手バイブ』（触手に振動・弱を与える）
を覚えた！
先生曰く
俺はまだまだ強くなるらしい！

ウォオラ
嫁マンコォオオ
ベロ
サイコォオォー！
ベロベロ
ベロベロベロ
ベロベロ
ベロ
あん♡
ダーリン♡
んんなとこ
らめだよ♡
あぁん♡

ジーナは押しかけてきたといっても、
実家は貴族で用事で帰る事が多く、
本日はルシアと二人のエッチな夜なのだ。
ダーリン♥すごい気持ちいいけど
今日は芋虫さんどうしたの？
俺の芋虫触手は、
先生に絞られて
一週間は
再起不能なのだ。
ルシアは
膣イキするように
開発してきたから、
俺のネチャネチャの
舌を伸ばして、
膣の奥へとウネウネ
ねじりまわしながら
挿入する。
反応がいい
ルシアが
可愛くて仕方ない。
あ♥すごいよ♥
ダーリン♥
ピクン

下の裏で、Gスポットをグリグリと
押さえつけながら膣奥で舌先をまわす。
ルシアの酸っぱいあそこの味を
舐めつくすように唾液まみれにしていく。
そのひとつひとつの動きに、
身体を痙攣させて反応するルシア。
俺は少し動きを速めると、
芋虫よりも良かったのか、
ルシアは簡単に
絶頂を迎えた。
ウチの愛らしい嫁は、
感度もよく
甘え上手なのに、
恥じらいは
無くさないで、
限界まで
声を抑えている。
俺はルシアを
もっとイカす
ために体勢
を変えた…。
ん♡イク♡イク♡
ビクン
ビクン
ビクン
ビッ
ゲヒ
ビッ

触手芋虫が不在なので、
直接侵入することにした。
ルシアの膣は吸い付いて
キュンキュンと
締め付けてくるから、
まるでチンチンのような
形状になっているが、
けしてチンチンスライムに
覚醒進化…
……（中略）……
全身チンチンみたいで
これは気持ちいい！
ふおおお！
ハニー！
愛してるぜ！
ぬぷっ♡
グポグポ
ズポッ
ズポッ
ぬっ♡
ズポッ♡

やっとスイッチが入ったのか
ルシアも喘ぎが
大きくなってくる。
下宿はほぼ使ってない
倉庫の一角を
間借りしているので、
高い天井まで
あんあん声がよく響いた。
ダーリン！
絶対一緒だから！
死ぬまで
一緒だからね！
じゅぷっ♡
じゅぷっ♡
キュン♡
キュン♡
パンパン
パンパンパンパン
パンパン
あ♡
ダーリン♡
もっと♡
もっと♡

何が死ぬまでだ！
前々世から
地獄に落ちての
来世まで
一緒で
ヤリまくってやる！
俺は
異世界から
運命のお前の下に
飛んできた漢だゼ！
ちょい不安げな
ルシアに
かなり大げさな
愛してるを伝えて
フィニッシュに向けて
ペースを上げた…。
ズッポズッポズッポズッポ
パンパンパンパンパンパンパンパン
フオオオ
キュン♡
しゃきっ♡

ビィィィ

なんだろう？ハニーのここの落ち着く感じは…
山奥の秘湯温泉の癒しのようでありながら…
エロゲ売り場のような優しい癒しは…
アハ♥ダーリンは時々よくわからない言葉を使うね
何かの魔法かな？エロゲ！
ボクも使えるかな！必殺エロゲクロス！
…すでに、
今使っているんだよ？

ダーリン♥好きだよ♥でも気づいたんだ。
ダーリンはホントはボクが召喚したんじゃないって、
きっとたまたまボクが召喚してたところに降りてきた
別の大事な使命がある勇者様なんだ♥
だからダーリン…いいんだよ…ボクじゃなくっても…
きっともっと力のある他の人に出会う運命だったんだよ。
ボクは魔女になれた夢を見れただけで満足だから…
だから…

ルシア…『愛の誓い』ってな。
女の子は人生で一回しか使えない最強の魔法なんだ。
特に耐性がない男には永遠に効いちまう。
俺はここに来て即それにかかってしまったんだ。
ルシアが最強の魔女で
相棒で嫁さんでハニーだ。
愛してる！
なんでここに来たかとかよくわからねぇし、
俺はシンプルに信じることにしたんだ。
自分に運命の人がいるとしたら男ってやつは
異世界にでも飛んで行ってしまう生き物だって！

うん！
ダーリン愛してる！
ずっと一緒だよ！
アン♡大好き♡大好き♡
ビクン
色々あったが
俺の異世界転生は大成功だ！
今ならそう断言できる！